

- 1 ねらい
 - ・加工前の材料を二酸化炭素換算し，材料にけがきをする。
- 2 準備
 - ・コンピュータ（二酸化炭素換算シートを使う）
 - ・ワークシート(No.6)
 - ・けがきに必要の工具
- 3 展開

学 習 活 動	支援及び指導上の留意点	評 価
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を知る。 ・製作手順を知る ・加工前の材料の二酸化炭素換算をする。 ・加工後の二酸化炭素削減目標を設定する。 ・けがきをする。 ・本時のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時を含めた2単位時間の学習目標は，「加工前の材料を二酸化炭素換算した後，材料にけがきをする」ということを知らせる。 ・製作の手順としては，照明器具の外装（傘や台など）をはじめに製作し，その後電気部品の部分（ソケットや電源プラグなど）を製作することを生徒に知らせる。 ・製作に必要な材料を加工前に二酸化炭素換算し，その結果をワークシート(No.6)に記録させる。 ・材料に無駄を出させず，しかも技術的な面を生かした美しい仕上がりの作品をつくるためにはどのくらいまで材料を加工するべきかを考えさせるために二酸化炭素の削減目標を考えさせる。このことからものを大切にすることを養いたい。 ・照明器具の外装部分（傘や台など）のけがきを，適切な工具を使って正確にけがきができるように支援する。 ・けがきでは，接合方法や切りしろ及び削りしろを考えさせ，構想の通りに美しく機能的な作品ができるように支援する。 ・最後に製作して組み込む電気部品の部分がどうなっているか，あるいは大きさがどれくらいかわかるように，見本の電気部品部分を用意し，生徒がいつでも電気部品の大きさを測ったり，見たりできるようにしておく。 ・次時は外装部分の部品加工をすることを生徒に知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素換算シートを用いて、部品の二酸化炭素換算をし、その結果をワークシート(No.6)に記入できる。（技） ・加工後の材料の二酸化炭素削減目標をワークシート(No.6)に記入できる。（関・創） ・けがきに適した工具を使ってけがきができる。（技）